

奨学金基金&寄付金

企業の皆様

ANDO CHIROPRACTIC, LLC
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK (U.S.A.) LIMITED
AMAZON.COM, INC.
MIKI HOUSE AMERICAS, INC.

学園グッズ&カレンダー

MS. ICHIKAWA, KUMIKO
MR. IGUCHI, TAKAO
MS. IKEGAMI, SACHIKO
MS. INAGAKI, NANA
MR. KAGAMI, TAKAHIRO
MR. KODAMA, KOJI
MR. KOZUMA, MASAHIRO
MS. NAITO, JUNKO
MR. OURA, MASAHIRO
MS. SIMONDS, NAOKO ISHIBE

子育て支援広場「ぼっぱ」

2016年10月より、月に一度、乳幼児子育て中の親子が気軽に集い交流できる場として、フレンズアカデミーに子育て広場「ぼっぱ」をオープンしました。「一歩いっぽ、ゆっくりと子育てを楽しむ」「子どもたちが発音しやすい言葉にしたい」などと様々な思いを込めて「ぼっぱ」と命名しました。毎月、おもちゃ遊びや工作、リズム体操、パネルシアターなど親子で楽しめる活動をしています。また、子育ての相談にも順次応じています。時間は午前10時～11時30分となっております、皆様が参加しやすい時間を設定しています。当日のクラス運営・進行はフレンズアカデミー親子教室担当教諭、たんぽぽ幼稚園幼児教室担当教諭、日本での経験豊富な臨床心理士、アメリカ現地校ABAプログラムアシスタントなど、経験豊富なスタッフの顔ぶれとなっています。開催回数は2017年12月末までに10回を数えており、皆さまから大変好評を頂いています。子育て支援の発信基地としての役割が担えるよう、スタッフ一同今後も研鑽を重ねより良いクラスづくりを目指したいと考えております。

～今号の目次～

- P.1 学園長よりご挨拶
- P.2 NJ キャンパス全日制部門からのお知らせ
- P.3 NJ キャンパス全日制英語科からのお知らせ
- P.4 育英アフタースクールより
 - ・2017年度スキーのお知らせと報告
 - ・ダブルダッチクラブのお知らせ
- P.5 りんごラーニングセンターより
 - ・ホームスクールシステムからのお知らせ
 - ・いろはにほんご教室プライベートクラスについて
- P.6-7 JCSのご案内
 - 2018年度NY育英学園全部門追加募集について
- P.8-P.9 サマー2018のお知らせ
- P.10 NY 育英学園クラブ書写合同コンクール報告
- P.11 シリーズ「保育教育トピックス」②
- シリーズ「先輩から一言」(学園児2世紹介)
- シリーズ「NY育英学園職員ペンリレー」
- P.12 NY 育英学園ファンドレイジングと育英バザー報告
- フレンズアカデミーよりお知らせ
 - ・子育て支援広場「ぼっぱ」
 - ・日ようびは日本語で遊ぼう (NY&NJ)
- 4コマ漫画 (作: コマタキレコ)

奨学金基金&寄付金個人の皆様

MR. KADDOURA, FADI & MS. KADDOURA, YAEKO
DR. EMY, ROBERT
MS. ISHIBE, NAOKO & MR. SIMONDS, DANIEL L.
M.D. PC. SHIMMYO, MITSUGU
MR. HIRABAYASHI, MASAYOSHI
MS. IKUI, AMY EMI & MR. AKIYAMA, SHINYA
MR. MORIMOTO, TARO
MS. EGUCHI, KEIKO & MR. EGUCHI, WESTON
DR. ISHITANI, MIKA & Mr. SPINI, MAURO
MS. KNIGHT, KEIKO S.
MS. MIYAKE, SATOKO
MS. VIGH, YUKARI
MS. WOODS, AYA IKEGAYA
MS. ITO, KAE & MR. ITO, YOSHIMASA
MR. KANZAKI, STANLEY N.
MS. MOCHIZUKI, MINAKO
MR. STAMATAKY, EVANS J. & MS. OGAWA, JUNKO

日ようびは日本語であそぼう

「日ようびは日本語あそぼう」は、様々なテーマ【子どもの日(5月)、夏祭り(8月)、運動会ごっこ(9月)、年賀状作り(12月)、節分(2月)、ひな祭り(3月)】を設け、年間を通して計6回開催をしています。同クラスは日曜日の午前中に開催され、参加費は\$20(1家族)となっています。当日の保育は経験豊富なニューヨーク育英学園の職員が担当し、子育て中の悩みや相談にも気軽に応じることができます。また、同クラスは参加者への利便性を図るため、同日に同内容で、フレンズアカデミー(マンハッタン/アッパーウエストサイド103丁目)とニューヨーク育英学園NJキャンパス(ニュージャージー/イングリッドクリフス)の2か所で同日開催をしています。マンハッタン在住の方でNJキャンパスでの参加を希望される方には学園所有のスクールバスによる無料送迎サービスがあります。そこではちょっとした旅行気分を味わうことができ、お子様にとって楽しいひと時となります。



お問い合わせ先

○子育て支援広場「ぼっぱ」: フレンズアカデミー

Phone: (212)935-8535 E-mail: Kosodate.nyikuei@gmail.com

○日ようびは日本語であそぼう

マンハッタン: フレンズアカデミー (212)935-8535 / Friends.nyikuei@gmail.com

ニュージャージー: NY育英NJキャンパス (201)947-4832

NichiNichi.Asobo.nyikuei@gmail.com

皆様のご支援に
心より感謝を申し上げます

全てのご寄付は米国での
税控除の対象となります。
All contribution is tax deductible.
501(c)(3)organization

本学園ホームページ
JAPANESE.SCHOOL.ORG から
PayPal をご利用できます。

お問い合わせ/ファンドレイジング担当
半場 綾子



- ① It snowed a lot!
I think our school will be closed.
- ② But look! Here comes our school bus!



- ③ We could come to school in this snow!
- ④ It's a miracle. Our buses still came!



- ⑤ Good morning, everyone!
- ⑥⑦ How come the teachers are wearing T-shirts like in summer?
- ⑧ Even in this cold weather...



- ⑨ We are hot because we've been working so hard shoveling the snow!
- ⑩ The teachers have been working very hard so we can come pick you up.
- ⑪ Thank you, teachers!

BY コマタキレコ (KIREKOKOMATA)



～～～世界中 子ども達の人生が平和で豊かなものになりますように～～～

学園の正月は例年のように餅つき大会・書き初めで明けました。カルタ取りや羽根つきなど日本以上に日本的な一年の始まりです。海外に居ても日本の文化とその雰囲気は大切に守っていききたいものです。

今年も学園には多くのカードや年賀状が届きました。最近の帰国者から創立当時の保護者・支援者のものまでが所狭しと廊下に展示してあります。どの名も皆さん懐かしい人ばかりで、見始めると時間の経つのを忘れてしまいます。大人になった元園児達に子どもが2人とか3人とか書いてあると、頭の中が30年以上タイムスリップしてしまいます。

さて通常の全日制小学部の1週間は月曜日の朝礼で始まります。その時期、世の中ではどんな事が起きているのかの内容でスピーチをしています。先日はノーベル賞という世界中の人々を対象にした権威ある賞の文学賞に、カズオ イシグロさんが選ばれた話をしました。5歳まで長崎で生活し、イギリスに渡り英語で小説を書いている人であり、多くの作品が世界中で読まれている人と紹介しました。私達日本人としては大変誇らしく嬉しい



「この学園の子ども達は元気によく質問しますね。あいさつもよく出来ていて、海外にいたとは思えない位、日本語がきれいですね。」と、講演会の講師の皆さんに言われます。

日本国内の学校では、講演の後まったく質問が出ず、白ける事が多いと言われます。海外に住み、小さな学校で伸び伸び過ごしている子ども達は、思ったことはどんどん口に出します。そんな子ども達こそ、これからの人材として育てていく必要があります。母国語でそうであれば、他の言語の世界へ行って

受賞と紹介しました。またノーベル平和賞に国際NGOのICAN「核兵器廃絶国際キャンペーン」が選ばれました。その団体のスピーカー、カナダ在住の被爆者サーロー節子さんは、核兵器を法的に禁止することが唯一可能な現実と訴えました。核兵器は「必要悪ではなく絶対悪」であると主張なさっています。この事を世界中の子ども達には伝えていかねばなりません。

実際アメリカ自体が、学校で子どもたちに「戦争を早く終らせる為に必要だった」と教えているのでは時代に逆行しています。人間として使ってはいけないものと教えなくてはこれからの若い世代での核廃絶運動に結びつきません。

一部のアメリカの学校では、毎年12月のパールハーバーの日には日本軍に奇襲攻撃された事を受け、歴史の授業をしています。その日は日本人の子ども達にとっては一番居心地の悪い日です。最近の調査での“アメリカの大統領は知っていた”と言うものも触れられず、原爆の被害については話されません。このアメリカの原爆に対する教え方が核廃

ー 国際派の日本人育成 ー

も順応性が高く、大人になって次の世代のリーダーになっていくことでしょ。これからの日本のリーダーになる人達は、海外の生活を経験し、母国語の基礎をしっかりと身につけた人達であるべきだと思います。それはまさしく私達の学園の子ども達です。多くの園児は、アメリカへは未就園児・幼児部とかに来て、全日制部門に入園し、小学部のある程度の年齢まで日本語中心に学び、NY育英クロスメソッドで英語の力をつけます。その成果をもって現地校にて生きた英語の中に飛び込みます。現地校へ移った子は、週末の育英サタデースクールやサンデースクールあるいは週日のアフタースクールで、日本語での授業を受けます。日本の1週間分の授業を、1日で学ぶのは大変です。しかし、その限られた時間で集中力のある学習態度が身につきます。

絶運動への流れにならない元児ではないかと思います。ICANやサーローさんが主張するように

「人間としては使ってはいけないもの!」「『必要悪』ではなく『絶対悪』である!」「核兵器と人類は共存できない!」と、日本人こそが世界に向かって声を大にして主張するべきです。原爆に限らず日本の各都市への爆撃で一般市民、多くの非戦闘員が亡くなった事を、私達は忘れてはなりません。

世界を見回せば、アメリカと日本こそが変化しやすい国で、世界のモデルになりうる国です。園児、児童の10年、20年そして30年後に世界がどうなっているかはわかりません。しかし次世代の世の中は彼らの双肩にかかっています。どんな世界になっても自分の力で生きていける力を付けておかねばなりません。その為には、自分で考える人になっておいて欲しいと思います。毎日少しずつの努力が大きな前進になります。

2018年は成年です。飛躍の年になるよう頑張りましょう。

アメリカナイズした子達が日本へ帰る前には、全日制部門で日本式の頭に切り替えるために、再入学して来るケースもあります。NY育英のプログラムの組み合わせで、どの子も基礎学力を不動のものにして、将来のリーダーになってほしいものです。

ニューヨーク育英学園学園長

岡本 徹

(上図:) 園長像
(総) 2017年度NJ全日制小学部
第4学年 桑原 大河

NJ キャンパス全日制幼児部小学部 保育教育力アップ

小学校学習指導要領や幼稚園教育要領では幼稚園と小学校の連携の重要性が明記されています。幼稚園と小学校が連携することで、学校全体が活性化するとともに、児童が幅広い体験を得、視野を広げることにより、豊かな人間形成を図っていくことが期待されています。しかし、近年、日本での小学校1年生において、集団行動が取れない、授業中に座ってられない、先生の話を受けないなど、学級での授業が成り立ちにくい状態が数か月にわたって継続する、いわゆる「小1プロブレム」とよばれる現代的課題も出現しています。

そこで、本学園では、幼児部から小学部に入学する就学移行期は、子どもたちにとって新たな環境に適応するという課題をもつ重要な時期と考えます。幼児部と小学部が同じ校舎で学ぶニューヨーク育英学園です。幼小連携教育を全教職員が共通認識をもって取り組んでいくことができるように、園児・児童の実態に合った交流や、職員間の研修を年間計画の中に位置付け、継続的に実施するようにしています。そうすることで園児・児童の連続した育ちの改善につながると考えます。

内容

子どもたちの不安を取り除き、安心して小学部へ入学できるように、職員同士の連携を積極的に行っています。また、研究会や園児・児童の交流会を通して子ども理解に努め、一人ひとりの子どもたちが主体的に参加できるように、支援のあり方を考えるなど、常に「子どもの最善の利益」を考えて保育・指導にあたっています。

職員交流研修

双方の職員が交流の機会を持つことは、子ども同士の交流を深化させる上で重要です。職員間の研修などを通しての交流を深めることで、職員としての力量の向上（行き届いた指導、幼児期・児童期の子どもの多面的・発達の理解、保護者理解など）、職員同士のより良い人間関係の構築や組織力の向上につながります。

また、職員同士のコミュニケーションにより、幼小連携の取り組みに関する様々な課題や問題点が解決に向かうこともあります。

◇授業研究会

小学部職員授業研究会に幼児部職員が参加します。職員が相互の教育内容や指導方法、子どもの発達について理解が深まることで自分自身の指導改善につながります。そして、学園の全体的な保育・教育の質の向上を図ります。



◇職員交流

日時を設定し、小学部職員が幼児部のクラスのアシスタントとして保育にあたります。幼児部から小学部への子どもの『滑らかな接続』を図るために、小学部職員が幼児部へ行って園児の遊びの姿や職員の支援等を学び、幼児部と小学部のそれぞれの保育・教育がつながっていることを理解し、小学部での支援に生かす機会としています。

子どもの交流

子ども同士の交流の場が、職員が相互の子どもを観察する機会にもなり、職員の子どもの理解が深まります。意義ある交流活動とするため職員同士が、活動の具体的な内容について事前に打ち合わせを行います。活動内容や配慮事項、活動のねらい等について具体的に話し合う中で、相互の保育・教育内容や方法、子ども観について相互理解が深まっています。

◇クラス間交流

交流するクラスを設定し、幼児部保育室に小学部児童が訪問して、遊びや昼食等で交流します。



◇幼児部年長組の小学部見学

年長組園児が小学校生活に見通しを持ち、円滑な移行のために、小学部の授業を見学します。また、幼児部の職員が小学部の生活を知り、年長組の保育に少しずつ反映していくことで、小学部との段差が緩やかになり、移行しやすくなっています。



◇日常的な交流

幼児部運動会の時期には、小学部児童が幼児部の練習の様子を見学します。また、ホリデーシーズンには、英語科の一環として、小学部児童が幼児部各クラスを回り、歌やダンスを披露します。

成果

【子どものあらわれ】

○廊下で日常的に出会う小学生がより身近に感じられるようになりました。また、児童や小学部職員が気軽にかわることで小学部というものを自分なりに理解するようになり、進学への不安が減り期待が増しているように感じます。
○様々な交流活動を通して、小学生から刺激を受け、憧れの気持ちを持ったり、経験したことを遊びに取り入れられています。

○小学部に入学することに期待とともに不安も大きく持っています。実際に小学部を知ることで不安が解消し、保護者も子どもの話を聞くことで安心することができています。

○自分に自信がもてないでいた小学生のA児は、園児に頼られることで自信をつけ、積極的に園児と関わるようになり、学級での人間関係も広がり、明るい生活態度へと変容していきました。

【職員】

○幼児部職員が、小学部に入学後の卒園児の様子を見る機会を持つことで、必要に応じて幼小の職員で相談して問題解決にあたるなど、卒園後のアフターケアができます。

○幼児部職員は、小学部の生活を知ること、何を学んでおくことが必要なのか理解でき、小学部との連続性を考えて保育していくことができます。

○「幼児部で育てる」という完結を求めるのではなく、幼児部から小学部への流れを感じられるようになり、卒園後の子どもの姿から幼児部のあり方を振り返るようになっていきます。

○小学部職員が幼児部の生活を実際に見ることで、就学前の子どもたちの生活リズムや学び方・行動の仕方などを把握でき、子どもについての理解を一層深めることができます。また、交流を通して園児の姿を見つめることで、入学後のかかわり方が理解でき、入学当初からきめ細かなかわりが可能となりました。

○幼小職員が、学園での姿、交流活動の中で具体的な姿として見えてきた良さ等を情報交換することで、子ども・保護者とう対応していくか理解が深まります。

○幼児部と小学部が同一校舎内にあり、相互に日々の日常的な活動を見ることで、相互理解が深まっています。

○今後、より良い職員間交流を図っていくために、学園全体の取り組みとして、交流の意義や方法などを組織として定着、充実させること等が大切です。

全日制小学部 学校賞受賞

～第38回海外子女文芸作品コンクール～

海外子女教育振興財団主催の第38回海外子女文芸作品コンクールにおいて、全世界から4万点以上の作品応募があった中、本学園全日制小学部が、多くの優れた作品が認められ、数ある在外教育施設の中から、20校のみに与えられる学校賞を受賞しました。今後も指導力の向上に努め、日々の作文指導、特別講師を招いての短歌・俳句の指導を中心に、『見て』『聞いて』『感じて』きたことを、書き表す活動に取り組んでいきます。

保育教育トピックス #2 ～強い意志力を育てるために～

子ども達が、将来、豊かな生活を送ることができるように、様々な力を身につけて行って欲しいと思いますが、中でも、強い意志力を持つことはたいへん大切なことだと思います。私が考える強い意志力とはするべきことを見極め、やり遂げる力であり、周囲を大切にしながらも、自分の考えを持って行動する力です。また、それは高い自己評価もち、精神的に安定した社会生活を送るために必要不可欠な力です。周囲の都合を考えず、自分の思い通りに物事を運ぶということはここでいう意志力とは相反するものです。

では、どのようにして、意志力を育てていけば良いのでしょうか。

幼児期に必要なことは、健康な身体をつくることです。自分の身体をどのように動かすかということを学ぶことは自信につながります。毎日、整ったリズムのある生活を送ることで、精神も安定し、物事を決まった時間に終えるという習慣を身につけることもできます。この時期には、「なぜ、何をしないといけないか」といった説明を最小限にとどめることで、成長していく力を身体の健全な発育に集中させることができます。学童期になる

と、社会面でも、学業面でも数々の小さな挑戦に出会うようになりますが、この挑戦を受け止め、乗り越えることによって、将来の意志力の芽生えに備えることができます。

また、小さな目標を定め、それを完遂するということを繰り返すことも大切でしょう。物を作るという作業はこの目的のために非常に適しています。編み物を例にとってみると、自分が終わったと思って、ふと見ると途中に間違いを見つかったりします。その時に、そこで終わらず、いったんほどこいてやり直すという作業は非常に良い練習になります。ひらがなや漢字を綺麗に書く練習なども同様です。書き終わったノートを見直して、消しゴムで消して書きなおすことは「綺麗な字が書けるようになる」ということ以上に「やり直し、やり遂げる」という点から重要視されるべきです。ここで、「がんばったね。」「最後までできると気分がいいね。」「といった声かけによって、子ども達は苦しさ乗り越えることの喜びや、苦しさ乗り越えて物事を成し遂げることの大切さを知っていきます。逆に「上手にできたね。」「早かったね。」「すごいね。」「といった結果のみ

を評価する呼びかけは意志力の形成には貢献しません。上手にできなければ、やらない、やりたくない、また上手にできない人は認めないといった意識を植え付けることにつながりかねません。手作業、芸術活動、楽器演奏などを通して、心を豊かにしながら、健全な意志力が生まれる土壌を作ること、青年期の心理的ストレスを乗り越え、高い自己評価をもった人生への礎ともなります。

最後に、意志力を育てるためには訓練的な指導方法は避けるべきだと考えます。子ども達はある程度強要すれば、宿題もし、楽器の練習もし、ルールも守りますが、それでは、常到的確な指示を出してくれる権威を求める人を育てることになる可能性があります。指示を出し、評価してくれる人がいなくなった時には、自分の行動に価値を見出せず、アルコールや薬物依存につながりかねません。健全で強い意志力を育てるための鍵は結果ではなく過程に目を向け、子ども達を励ますことにあるのではないのでしょうか。

記／育英サタデースクールPW校小学部主任：藤田 真祐子

学園児2世紹介

～元「よい子の学園」園児・現 NY 育英学園全日制幼児部保護者／ピエリ 白坂 英里 様より

Fort Lee のメインストリートにあった日本食レストランを経営していた両親に、この学園へ連れて来られたのは32年前。まず幼児部から小学部の5年間、Ridgefield の公立学校内にありました「よい子の学園」（当時の名称）にお世話になりました。毎年1年ずつ学年が増設されていた時代で、まだ小学2年生までしかありませんでした。

両親は兄や姉がアメリカ化して英語のみになっていたものですから、せめて一番下の私に日本語を植え付け、親子の橋渡しを期待していました。今、充分、その役割は果たしています。この学園には大変感謝しています。

学園の四季折々の行事や日本の保育、授業の楽しさや良さが深く心に残っていました。そして、自分に子どもができたらず、この



←さくら組ルーフ君とお母さんの英里さん

学園に入れようと思っていました。もちつき大会や書き初め、豆まき、サマーキャンプや学園祭劇の発表会（スイミーのわかめ役）を今でもよく覚えています。遠足、運動会等家族そろって満喫していました。

アメリカの学校では、この学校のような楽しいスポーツデイはありません。子ども達だけのゲーム大会のような集まりです。家族がお弁当を持ち寄り、ピクニックのような雰囲気です。声援を送るというのは日本独特の伝統文化ですね。

今度は母親として夫、両親を交えて楽しませていただこうと思います。

1987年の入学式
担任は、菅原理香先生。
岡本園長にはまだ髪の毛がありました。



職員ヘンリッレー

Years ago, as a middle school student attending Upper School in Englewood Cliffs I was curious about the South Cliff School on Bayview Ave.

As time passed I graduated from Dwight Englewood School, received a BFA from Manhattanville College, and did

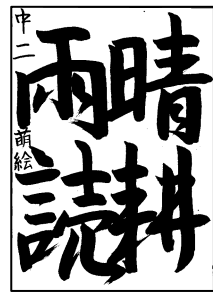
graduate work in Education at Montclair University. I continued to pursue my art career and had several international exhibits as well as group shows in NYC. My artwork took a back seat twenty years ago, when I became a mother and friend to my daughter, Isabella. Then, in the year 2006 my curiosity about that school on Bayview Ave was piqued again. I had been asked to interview for a position as an ESL teacher with the head teacher, Mr. Konishi. The school was no longer South Cliff, it was now called Ikuei, the only Japanese School in the area.



記／NJ キャンパス全日制小学部英語科スタッフ：Melissa Lauricella

Ikuei was a place that I wanted to be a part of where I could contribute to the education of young children. So needless to say, I was ecstatic when I received the job offer to join the English Department. Fast forward to 2017. I have had the honor to teach at Ikuei for eleven years. Each day as I enter the school I am inspired by the sense of community created by the administration, the teachers, but most importantly by the students. I am proud and honored to be a devoted teacher to the students. Ikuei is a special place, and I am lucky to be a part of this great community.





中2 サタデーNJ校

宇都宮 萌絵



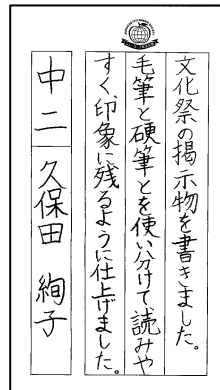
小6 水曜書道教室

作田 莉子



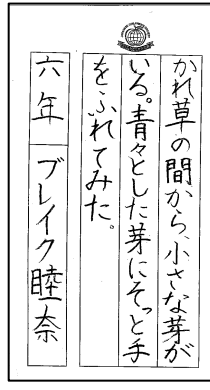
小3 水曜書道教室

堀 花音



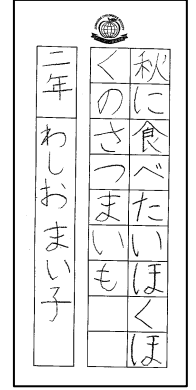
中2 サタデーNJ校

久保田 絢子



小6 水曜書道教室

ブレイク 睦奈



小2 日曜寺子屋

鷺尾 舞子



★学園長賞

小学校 低学年の部

毛筆の部

★学園長賞

小学校 低学年の部

硬筆の部

二〇一七年度
クラブ書写コンクール 受賞者発表

二〇一七年十月に、ニューヨーク育英学園各部門の書写クラブ参加者を対象に行われた、コンクルールの結果が発表されました。

受賞者の皆様は以下の通りです。おめでとうございます。

筆達とは・・・
昨年から、全サタデー書道クラブも筆達に参加し始めました。
「一般的には筆の達人検定」は、日本の「ニューヨーク育英学園独自の昇級・昇段基準を設定し、試験を実施するものです。級・段を設けることで、学園で書を書く子ども達に今までの発表の場ができ、今後の意欲に繋がればと考えています。現在の以下、教室で筆達を実施されています。
・水曜書道教室
・フレンズ書道教室
・日曜寺子屋
・育英サタデースクール
(NJ校・M校・PW校)

効果③ スピーキング力がUP

年長や年中組の子どもたちは、普段日本語での園生活で使っている日常生活の表現や簡単な自己紹介を英語でもできるように、毎日順番に発表者を変えて練習しています。最近では、英語の時間でもお当番さんが英語で友だちへの様々な指示をしたり、自分が朝ごはんなどに食べたものや好きなものについての話をしたりできるようになってきました。

子どもたちは、英語の時間にクラスみんなと一緒に英語の練習に取り組む他にも、ランチや自由遊びの時間で、1対1でネイティブの英語の先生と会話ができるチャンスがあります。子どもたちは、たくさんの英語のシャワーを浴びながら、自然と英語でコミュニケーションをすることが当たり前のように身についてきています。



効果① リスニング力がUP

毎日ネイティブの先生の英語に触れるようになったことで、子どもたちのリスニング力が伸びてきています。簡単な英語での指示はもちろん、子どもたちがナチュラルなスピードの英語を聞きとって、積極的にいろんな活動に取り組む姿は、保育者にとっても驚きであるとともに大きな喜びとなっています。

子どもにとっての一番の英語習得法は、とにかくたくさん英語を聞かせて、英語の先生の英語を真似しながら話すこと。子どもたちは、大人にとっては羨ましいほどの信じられないスピードで、どんどん英語を吸収していきます。先生といろいろな歌を歌ったり、ダンスをしたり、ゲームをしながら英語に触れる中で、先生の指示など英語のリスニング力がみるみる上がってきました。



効果② 英語に対する好奇心がUP

早期の英語教育が大切だからといって、子どもの意思に反した環境に置いたり、子どもに過度なプレッシャーや負担を与えると、英語嫌いになってしまうこともあります。そうならないためには元も子もありません。

NY 育英全日制幼児部の英語カリキュラムでは、ネイティブやバイリンガルの英語の先生たちが歌や様々なゲームをしながら、子どもたちが楽しく英語に触れて、英語が好きになるような工夫をしています。

実際、「英語が好き」という声が増え、もっと英語を勉強したいとアフタースクールのESLなどに参加する子どもたちが増えてきました。



効果④ 多様性への適応力がUP

ポジティブにとらえれば阿吽の呼吸と言われる日本人の気質も、ともすれば殻に閉じこもりがちになってしまうのは、無意識のうちに単一民族の中で生まれ育ったことが影響していると言われています。グローバル社会の中で生きていくには、幼少期のうちに、多様性への寛容力と社交性、積極性、そして自己表現力を身に付けることが非常に大切です。

幼小一貫の全日制日本人学校であるNY 育英学園では、日本人学校でありながらも英語教育に力を入れ、7、8人のネイティブの英語の先生が子どもたちの指導に当たっています。小学生を中心に教えている先生たちも廊下で行き合った幼児部の子どもたちに気さくに声をかけてくれるので、子どもたちの視野は無意識ながらも確実に広がっています。



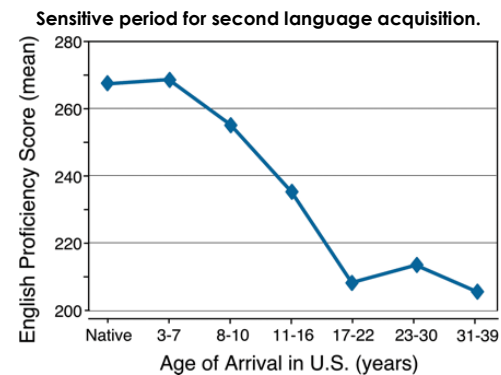
幼少期の英語学習はなぜ重要か？

幼少期の英語学習については、様々な考え方・立場がありますが、ますます進むグローバル社会の中で生きていくには、日英バイリンガルになることが有利です。日本でも、公立の小学校から英語が必修になり、英語のレッスンを導入する幼稚園も増えてきました。

バイリンガルになる上で大切なのが「英語耳」を鍛えること。実は、話し言葉の日本語と英語は、音声の周波数帯が異なるため、幼少期に英語に触れたことのない日本人は、大人になって英語の音を聞き取ることが難しく感じられるのです。

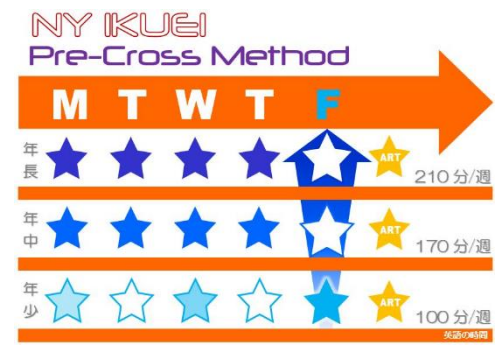
下の表は、非英語圏で生まれた人が英語圏に移住してきた年齢によって、その後の英語力がどのくらい伸びるかを示した表です。残念ながら、7歳を超えると、たとえ10年以上英語圏で生活しても、一般的に英語力の伸びに限界があることが分かります。

こうしたことから、幼少期に英語のシャワーを浴び「英語耳」を鍛えることは、非常に重要なのです。



NY 育英全日制的「毎日の英語」の効果

NY 育英学園では、グローバル社会の中で英語の重要性がますます高まる中、まずは母国語による教育を大事にしつつも、2017度から幼児部でも毎日英語での活動をカリキュラムに取り入れ、早期のバイリンガル児育成に効果をあげつつあります。



※「ブリクロスメソッド」は、日本語が母語となるようなバイリンガル教育を目標とした、NY 育英学園独自の幼児英語教育メソッドです。まずは日本語を定着させ、年齢に応じて徐々に英語での活動の時間が増えるカリキュラムとなっています。「毎日の英語」の他、年長・年中組は、金曜日は通常よりも長い時間英語に触れる「バイリンガルの時間」を設け、小学部のより本格的な英語カリキュラム「クロスメソッド」へスムーズに移行できるよう配慮されています。

育英アフタースクール（NJキャンパス）

NY育英 日帰りスキー教室&宿泊スキーキャンプ

初心者も安全安心、日帰りスキー

NY育英学園アフタースクール部門では、12月17日、PA州キャメルバックリゾートにて日帰りスキーキャンプを開催しました。12月上旬は暖冬だったため、ゲレンデの積雪が心配されましたが、後半の恵みの降雪でスキー場はしっかりと整備され、子ども達にとっては絶好の機会となりました。

また2018年1月7日の初滑り日帰りスキーでは、初心者クラスの子も達が序盤には転倒を繰り返していたものの、後半には全員がボーゲンを覚え、リフトに何度も乗り、トレイル周回をして物凄い速さで成長していました。

この日帰りスキーキャンプは、**小学1年生から中学3年生を対象**とし、最大5つのグループに分けて日本語によるレッスンを行っています。初心者コースでは、転んだ後に立ち上がる練習やゆっくり滑る練習をしており、「最初は怖かったけど、今は早く滑りたい。リフトに自分で乗りたい。」

と、次回キャンプへの思いを語っている子がいました。

※ **2月の日帰りスキー実施日は2018年2月11日**です。参加をご希望の方は、**まずはお問い合わせください。**



毎年大人気、宿泊スキーキャンプ



宿泊キャンプは、**小学3年生から中学3年生を対象**とし、12月と2月に実施しております。日本語漬けの宿泊なので、スキーの上達とともに、日本語を使って覚える良い機会となっています。

昨年12月の宿泊スキーキャンプでは、スキーゲレンデが寒波でマイナス18度以下となる中、子ども達は元気にゲレンデを滑降していました。中には指導者よりもゲレンデを知り尽くしてしまうほど、様々なコースを周回している子もいました。上級コースではブラックダイヤモンドという最上級の難易度を誇るトレイルを何度も周回し、パラレルやシュテムなど普通の滑り方だけでなく、回転や片足などでの滑り方も覚えていました。

また、スキーだけでなく、スノーチュービング（タイヤの上に乗って行う滑り台のようなアクティビティ）や、夜のお楽しみレクリエーション、景品ビンゴ大会、毎食の日本食なども大人気です。

皆様の参加をお待ちしております。

※ **第2回宿泊キャンプはまだ受付中です。定員になり次第締め切りますので、参加希望の皆様は早めにお申し込み下さい。**

2018年2月19日～2月21日

ここが魅力です！

- ① 日本語でのスキー指導！
- ② NY育英学園の教員を中心とした、経験あるスタッフ陣！
- ③ 育英スキーレンタルあり！
- ④ 初心でも安心の、レベル別グループレッスン！
- ⑤ NY育英学園職員による引率！
- ⑥ ポートワシントンとマンハッタン（ミッドタウン及びアップパーウエスト）からの学園スクールバスによる送迎あり。

※オプションとして。



お問い合わせ先

場 所：8 West Bayview Ave.
Englewood Cliffs, NJ 07632
電 話：(201)947-4832
E-mail：スキー Ski.nyikuei@gmail.com
ダブルダッチ AfrerNJ.nyikuei@gmail.com

ダブルダッチ

絶好調、ダブルダッチチーム！

近年、絶好調の入賞結果を出しているダブルダッチチームの紹介です。

2017年度 入賞履歴

2017年 NJ ステートトーナメント大会 **優勝**

2017年 ADDL 東海岸大会 **準優勝**

2017年 New York サマークラシック
初開催のリンカーンセンター大会 **優勝**

2017年 USA JUMP ROPE Competition
フロリダ大会 **準優勝**

2017年 NDDL Double Dutch Holiday Classic
アポロシアター大会 **優勝**



ダブルダッチとは、2本のロープを使って跳ぶ縄跳びのことで、向かい合った2人の回し手が回すロープの中で跳ぶスポーツです。

2017年12月のアポロシアターにて、毎年恒例のダブルダッチ大会が開催されました。回数を競うスピード部門と演技部門に出場し、本学園のチーム『NINJA（廣井、篠田、石ヶ原、宇都宮）』が念願の**優勝**を勝ち獲りました。2017年度のチームは幼い頃からダブルダッチクラブに在籍し、練習してきたメンバーを中心に構成されており、実力も付き、フロリダ大会のような今まで出場したことのないハイレベルな大会や演技にも挑戦しました。

今後は、国内外での活動も視野に入れ、さらに子どもたちの可能性を広げていきたいと思ひます。

NY育英学園ダブルダッチクラブは世界選手権優勝経験を持つ指導者が指導にあたります。まだまだ新しいニュースポーツ**“ダブルダッチ”**。国際遠征や交流、スポーツの可能性に触れてみませんか。

- ・全日幼児部 2：30～3：20（火曜）
- ・全日小学部 3：40～4：40（火曜）
- ・ダブルダッチチーム
5：00～6：30（月曜・水曜）
4：00～5：30（土曜）
- ・日曜ダブルダッチクラス
5：00～6：00（日曜）

にて活動中です。

※大会に出場するのは「ダブルダッチチーム」のみとなります。

育英サマー2018

りんごラーニングセンターのサマープログラム

きりんのへや こども園のサマースクール

対 象：2歳半～年長児（30名程度）

期 間：6/25（月）-8/3（金）（土日は休み）

時 間：1日保育：午前9:00～午後4:00

半日保育：午前9:00～午後1:00

★早朝保育(午前8時から)、延長保育(午後5時半まで)あり

★フルタイム割引（4週間以上選択される方）あり

★スクールバス・給食サービス利用可

きりんのへやこども園のサマープログラムは、一日単位で選択できる組み合わせ自由なサマースクールです。

主な活動としては、りんごラーニングセンターのアウトドアプレイエリアでの水遊び、ニューヨーク育英学園NJキャンパスでの外遊び、泥遊び、造形遊び、体操クラス、クッキングなどを日本語で行います。紙芝居や絵本の読み聞かせ、日本の歌や、わらべうた、手遊びなども取り入れています。また、フィールドトリップにも行きます。

経験豊富な保育者が、お子様の年齢や個性に合わせ、細やかに対応いたします。子どもたちが、日本語の環境で夏の楽しい思い出が作れるよう、お手伝いします。



お問い合わせ／りんごラーニングセンターディレクター：半場 綾子

フレンズアカデミーサマースクール2018

マンハッタン・アップパーウエストの新園舎に移転し、今年で3回目を迎える、フレンズアカデミーサマースクール。

2017年度の参加者は前年度を大きく上回る延べ200名以上となり、園舎中に子どもたちの元気な声が響き渡りました。2018年度も日本の伝統的な文化体験、フィールドトリップ、水泳教室（年長・小学生以上）クッキング、制作活動、夏祭りなど魅力的なプログラムを多数ご用意してお待ちしております。どうぞ奮ってご参加ください。

サマースクール概要

親子サマー：1歳半～3歳未満

定員：7組

期間：2018年7月3日（火）～8月24日（金）

時間：10：00～11：30

★火曜日～金曜日クラス開講

幼児サマー：2015年4月2日生まれ～未就学児

定員：幼児Ⅰクラス（年少）20名

幼児Ⅱクラス（年中・年長）20名

期間：2018年7月2日（月）～8月31日（金）

時間：9：30～15：30

★年少・年中クラスは概ね30分～40分程度、昼の休憩時間があります。

小学生サマー：7歳～12歳

定員：10名

期間：2018年7月30日（月）～8月31日（金）

時間：9：30～15：30

※上記のいずれも参加時点での年齢となります。

※学部クラスによって実施期間が異なります。ご注意ください。



お問い合わせ／フレンズアカデミーディレクター：河野 茂

語学部門 英語サマーデイキャンプ

対 象：小学生

*3rd & 4th Session は中学生も可

期 間：

① 1st Session（3週間・全日）6/25(月)-7/13(金)

② 2nd Session（2週間・全日）7/16(月)-7/27(金)

③ 3rd Session（2週間・半日）7/30(月)-8/10(金)

④ 4th Session（1～3週間・2時間）8/13(月)-8/30(木)

※スクールバス利用可（料金別）^{1,2nd Sessionのみ}
※2セッション以上の参加、弟妹の参加、育英サマーキャンプ参加者には割引制度あり。

申込開始：2018年2月5日（月）より

今年で8年目を迎えるりんごラーニングセンターの英語サマーデイキャンプ。このキャンプでは、毎日様々なアクティビティを英語で行いながら、子どもたちが英語を身近に、そして楽しく学習できるよう工夫されています。

秋から現地校に入る日本からアメリカに来て間もない子どもたちが英語に慣れるためのウォーミングアップキャンプとして、また毎日英語のシャワーを浴びて自分の英語力を伸ばしたい子どもたちにとって、最適のキャンプです。

必要時には日本語を通じるスタッフがおりますので、安心して参加できます。その他事務手続きやお子様のキャンプでの様子なども日本語でお伝えしますので、保護者の方にとっても安心です。

皆様のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

お問い合わせ先

場 所：2460 Lemoine Ave., Fort Lee, NJ 07024

電 話：(201)947-4707

E-mail：Ringo.nyikuei@gmail.com



フレンズアカデミー

サマースクール説明会のご案内

日時：

① **2018年2月4日（日）**
午後4時15分～午後5時15分

② **2018年2月11日（土）**
午後4時15分～午後5時15分

場所：フレンズアカデミー

（アップパーウエストサイド103丁目）

※当日は全体説明会及び各部門に分かれての説明会を実施いたします。
※両日共に説明会の内容は同様となります。

お問い合わせ先

場 所：310 West 103rd St.

New York, NY 10025

電 話：(212)935-8535

E-mail：Friends.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ／NJキャンパスアフタースクール・クラブディレクター：加藤 義隆

育英サマー2018

第36回育英サマー ニュージャージーのサマープログラム

《ディキャンプ》 《レイクグリーリー宿泊キャンプ》

《サマー野球教室》 《サマーいろはにほんご教室》

サマー幼児部ディキャンプ
サマー小学部ディキャンプ
サマー野球教室
サマーいろはにほんご教室

対 象：
幼 児：2012 年 4 月 2 日～2015 年 4 月 1 日生まれ
小学生：2006 年 4 月 2 日～2012 年 4 月 1 日生まれ
期 間：
① 前期(3週間・全日) 6/25(月)-7/13(金)
② 後期(2週間・全日) 7/16(月)-7/27(金)
＊スクールバス利用可(料金別)
＊前期後期両方の参加、弟妹の参加には割引制度あり。
申込開始：2018 年 2 月 4 日(日) より

サマー宿泊キャンプ (レイクグリーリーキャンプ)

対 象：小学1年生～中学3年生
2002 年 10 月 1 日～2012 年 4 月 1 日生まれ
期 間：
15日間 6/24(日)-7/8(日)
申込開始：2018 年 2 月 4 日(日) より

今年で36回を迎えるニューヨーク育英学園のサマープログラムは、幼児部・小学部のディキャンプ、そのディキャンプの放課後を利用した野球教室や語学教室、そして小学生から中学生までが参加できる2週間の宿泊キャンプがあり、盛りだくさんのプログラムをご用意しています。

私たちはこのサマープログラムを通して、子どもたち一人ひとりが日本語を使いながら楽しく充実した夏を体験できるようにと、それぞれのプログラムにおいて工夫を凝らしております。

前期後期続けて参加をしても、また毎年参加をしても飽きることのない変化に富む内容がたくさん詰まっております。また、安全面にも留意しており、お子様が安心して参加できます。



サマー幼児部小学部ディキャンプ

幼児部では、普段の日本語での幼稚園の環境に加え、夏ならではの水遊びや泥んこ遊びなど、お友達と遊びながら学ぶことができる活動をたくさん取り入れています。

【主な活動例】

水遊び、クッキング、造形遊び、どろんこ遊び、フィールドトリップ、緑日、水泳(年長のみ)、日本の文化体験



小学部では、縦割りクラスを組むことで、異年齢集団の中で思いやりの心や自立心、チームワークを育みます。毎日行う水泳、実験や言葉の学習、そして宿泊キャンプもあり、知育・体育満載です。

【主な活動例】

1泊宿泊キャンプ、緑日、育英オリンピック、理科実験、音楽、工作、フィールドトリップ、水泳教室



サマー野球教室

投げる、打つ、捕る、走るといった基本動作から、実戦練習、試合までを行う野球教室です。午後4時から5時半までの1時間半、のびのびと野球ができます。初心者も大歓迎です。



お問い合わせ先

場 所：8 West Bayview Ave.
Englewood Cliffs, NJ 07632
電 話：(201)947-4832
E-mail：SummerCamp.nyikuei@gmail.com

サマーいろはにほんご教室

夏の間に日本語力を伸ばしたい、漢字を学習してみたいなどそれぞれのニーズと日本語の能力に合わせて学ぶことができます。



時 間：午後4時～午後5時30分

①Japanese クラス (JSL/JFL)第2外国語して日本語を学習
②日本語クラス (Nihongo) 日本語の読み書きを学習
③国語クラス (Kokugo) 国語としての日本語学習

サマー宿泊キャンプ

世界各国から子ども達が集まるレイクグリーリーキャンプで、男女それぞれのキャビンに教員とともに2週間一緒に寝泊まりをし、様々なアクティビティやすいか割りや飯盒炊飯などを大自然とともに満喫できるキャンプです。



育英サマー説明会のご案内

期 日：2018 年 2 月 4 日(日)
場 所：NY 育英学園 NJ キャンパス
時 間：午前9時～午前11時45分
＊参加部門ごとに説明会時間が設けられております。

りんごラーニングセンター

ニューヨーク育英学園 ホームスクールシステム

都合に合わせて、自宅で楽しく勉強！

ニューヨーク育英学園では、ニュージャージー、マンハッタン、ポートワシントンの各キャンパスで、全日制、サタデー・サンデースクール、そしてアフタースクールといった様々なプログラム提供し、皆様の学習ニーズにお答えしておりますが、これらの他に自宅で学習できるホームスクールシステムもあるのをご存知ですか。

ご家庭の事情により、学校に通うことができないお子様や、更に学力を伸ばしたいお子様、そして日本語を第一言語としない方の日本語能力伸長まで、ご自宅での学習をサポートします。

このシステムでは、経験豊富なニューヨーク育英学園の講師が直接ご家庭を訪問し、学習者一人ひとりが抱える問題や課題に合わせて指導していきます。

受講生とご家庭の希望やご都合に合わせて、次のようなコースを準備しております。

①準拠コース

準拠コースは、ニューヨーク育英学園のサタデースクールニュージャージー校・マンハッタン校・ポートワシントン校、そしてサンデースクール各校の学習内容に準拠したコースです。各校に入学を希望しているけれど定員が一杯でウェイティングしている、土曜日や日曜日には時間がないので平日に勉強したい、などというお子様にぴったりです。最寄の準拠校を選んで頂き、そこで使用されている教科書・副教材を使って、同様のカリキュラムで授業を進めていきます。

また、スクーリングとして準拠校で行われる各種行事に参加できますので、準拠校の児童・生徒たちとも交流できます。行事は各準拠校によって異なりますが、運動会、遠足、もちつき大会、書き初め大会などに参加が可能です。

この準拠コースを受講して、小学部、中学部のコースを修了した場合は、準拠校の卒業式に参加することもできます。その際は、ホームスクールシステム修了証を授与いたします。



お問い合わせ／ホームスクールシステムディレクター：舩田 和美

②個別カリキュラムコース

個別カリキュラムコースでは、学習者の年齢に関わらず、習熟度や学習希望科目に合わせてカリキュラムを作成します。サタデースクール、サンデースクールの補講はもとより、より高度な学力の養成や漢字集中学習など、個別の学習目標に合わせた指導を行います。

教科書は、ニューヨーク育英学園各校で使用している文部科学省検定済教科書およびそれに準拠した副教材を使用することもできますが、ご希望により、学習内容にあわせ、その他の教材を使った学習も可能です。ですから、お子様の学習目標・習熟度に合わせて、丁寧にじっくり学習していくことができます。

また、外国語・第二言語としての日本語を学びたい大人の方への日本語指導も行います。ひらがな、カタカナの書き方から、ビジネス日本語会話まで、外国人への日本語指導の経験が豊富な日本語教師が、わかりやすく丁寧に学習の手助けをします。

③幼児訪問コース

小学校就学前のお子様の日本語習得には、幼児訪問コースをご利用ください。日本語の童謡を歌いながら手遊びをしたり、折り紙を折ったり、絵本や紙芝居の読み聞かせなど

を通して、お子様に日本語や日本文化に触れ合う機会を提供します。

このコースでは、お友だちと一緒に受講するセミプライベートコースも可能です。ぜひご相談ください。

④英語指導コース

ニューヨーク育英学園には、日本人への英語指導経験が豊富なアメリカ人講師も多数おりますので、英語のホームスクールも可能です。

アメリカにきたばかりのお子様の英語指導はもちろん、現地校の宿題補助、英会話能力の伸長、英作文指導、英検対策、更にはアメリカ私立中学・高校・大学の入試対策指導も行います。

お子様のみならず、大人の方への英語指導も行っておりますので、忙しいお母様、お父様のご家庭での英語学習にもぴったりです。

いろはにほんご教室

いろはにほんごプライベートレッスン

いろは日本語教室では、NY 育英学園独自のメソッド「いろはにJNK」を基にしたレベル別日本語のクラス (Japanese、Nihongo、Kokugo) を各校アフタースクール開講しています。

ニューヨーク育英学園ホームスクールシステム事務局のあるニュージャージーフォートリーのりんごラーニングセンターでは、「いろはにほんご教室」のプライベートレッスンおよびワークショップを行っています。

現在は、全日制、サタデー・サンデースクールに通いながら、もっと日本語力を高めたいというお子様 (「国語」クラス) や、日本語の日常会話はある程度

できるけれど、教科書を使って日本語を勉強したことがなかったアメリカ生まれのお子様 (「日本語」クラス)、そして両親ともに非日本人で、日本語を外国語として学習しているお子様 (Japanese クラス) がいます。

「国語」クラスでは、文部科学省検定済教科書およびそれに準拠した副教材を使用しながら、必要に応じてその他の副教材プリント等を使用しながら、漢字の読み書き・読解・作文指導などを行っています。夏休みや冬休みには、古文や日本の歴史、長文読解、さらには漢字検定対策などの集中レッスンも可能です。

「日本語クラス」では、外国人のための日本語教科書を使いながら、カタカナや漢字の習得・定着を図るとともに、日本語を使ったアクティビティを通じて、より高度な日本語を使えるようにめざします。

また、日本語を外国語として学ぶ「Japanese クラス」では、日本語の文法、発音体系のルールの基礎を学ぶとともに、簡単な日本語での日常会話ができるようになることを目標に、ひらがな、カタカナや簡単な漢字を学習しています。日本文化紹介もこのクラスの大事な要素ですので、日本の季節の行事を紹介し、行事関連アクティビティも積極的に取り入れています。

皆様のお問い合わせをお待ちしています。

お問い合わせ先

場所：2460 Lemoine Ave., Fort Lee, NJ 07024
電話：(201) 947-4707
Email：ホームスクールシステム
Homeschool.nyikuei@gmail.com
いろは日本語教室
IROHA.nyikuei@gmail.com
Ringo.nyikuei@gmail.com



